（様式５－２）

整理番号１

参考となる成果整理表

ふくふくしめじは籾殻を使用した培地で栽培が可能

福島県林業研究センター　林産資源部

1　部門名

林業ー食用キノコー栽培方法

2　担当者名

片野高志

3　要旨

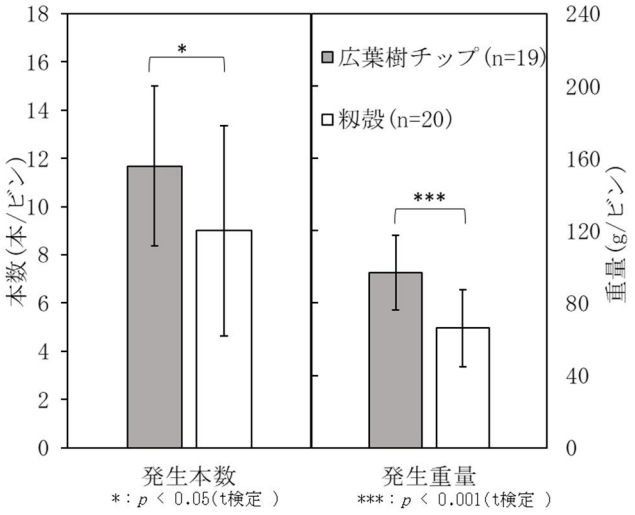
福島県のオリジナル品種ホンシメジである「ふくふくしめじ」は、菌床製造のコストが高いことが課題となっている。そこで、通常の菌床で使用されている培地基材の広葉樹チップを安価で入手できる籾殻に代替した培地で菌床を製造して栽培試験に供したところ、籾殻代替培地でもきのこの発生が確認され、安価な代替培地基材を利用した栽培の可能性が見出された。

（１）培地基材（広葉樹チップまたは籾殻）：押麦：フスマ＝10：4：1 の体積比で 1,400ml 栽培ビンに充填して菌床を製造し、120 日間培養後に空調室で発生管理を行った。

（２）双方の菌床できのこの発生が確認された（図－1)。適期に収穫し、栽培ビンあたりのきのこの発生本数と収量の平均を算出したところ、籾殻菌床は広葉樹チップ菌床と比較して発生本数が約 3/4、収量が約 2/3 であった（図－2)。

（３）籾殻菌床に適した栄養材組成や培養期間、１ビンあたりの充填量等を検討する試験を行うことを計画している。

図－１　籾殻培地の発生状況



図－２　菌床ごとの発生本数と収量

4　成果を得た課題名

（１）研究期間　令和 3～7 年度

（２）研究課題名　ふくしまほんしめじ栽培技術の開発と優良品種選抜

5　主な参考文献・資料

なし